

平成 29 年度

山形県議会広報・広聴委員会報告書

平成 30 年 3 月 13 日

山形県議会広報・広聴委員会

目 次

1	協議の経過及び結果について（概要）	1
2	平成29年度議会広報・広聴事業実績	4
3	平成30年度議会広報・広聴事業計画	8
4	山形県議会広報・広聴委員会名簿	10

(参考資料)

○	平成29年度議場演奏会と議会見学会 参加者アンケートとりまとめ結果について	11
○	平成29年度生徒学生と県議会議員との意見交換会 の実施状況について	15

1 協議の経過及び結果について（概要）

山形県議会広報・広聴委員会は、県議会の活動状況を広く県民に伝えるとともに、県民の声を広く聴き、一層、県民に県議会を身近に感じてもらう方策を検討するため、7回の委員会を開催した。

委員会では、新たな取組みである「県議会ギャラリー」の実施方法、若者向け広報紙「県議会ナビ」の編集内容、「議場演奏会と議会見学会」の開催内容、テレビ広報番組の企画・構成、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の実施方法等について協議を重ねながら、以下のとおり広報・広聴事業を実施したほか、来年度事業の方針等を検討した。

① 「県議会だより」の発行について

全戸配布の広報誌「県民のあゆみ」との合冊編集としている「県議会だより」については、議会活動の基本的な情報を県民に伝えることを念頭に、年6回発行した。（約40万部／回）

② 「県議会やまがた」の発行について

定例会の質疑と答弁の概要など議会活動の詳細な情報を提供する「県議会やまがた」については、県民に議会に対する理解を深めてもらうことを念頭に、年4回発行した。（3,500部／回）

③ 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行について

若者向け広報紙「県議会ナビ」については、若者が興味を持てるような紙面とすることを念頭に、山形大学の学生の協力を得て、第2号を10月に発行し県内の高校生等に配布した。（4万部）

④ 「議場演奏会と議会見学会」の実施について

「議場演奏会と議会見学会」については、県民に県議会を身近に感じてもらう契機となることを念頭に、10月に、議場の見学や予算特別

委員会の傍聴、県議会の仕組みや役割についての説明と併せて、議場における山形交響楽団による演奏会を催した。

なお、参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、8割の方が再度の参加を希望している状況であった。

⑤ 「県議会ギャラリー」の提供について

「県議会ギャラリー」については、今年度からの新たな取組みとして、より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを念頭に、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。（5回）

⑥ 「県議会ホームページ」について

議会活動の詳細な情報を県民に伝えるため、「県議会ホームページ」において、定例会や常任委員会等の概要、会議録、議会トピックス等を掲載したほか、議会中継を配信した。

⑦ 「県議会テレビ広報番組」の制作について

県広報番組の枠を活用して、県議会の活動状況を広く県民に発信するため、第1回目「県議会に若者のアイデアを！」（平成29年9月3日放送）と第2回目「もっと、もっと身近な県議会！」（平成30年2月10日放送）を制作し放送した。

⑧ その他の広報

上記以外の広報として、県議会を広く知ってもらうため、県議会議事堂の見学に訪れる県民に「県議会のしおり」を配布し、視覚障がいのある方には点字版の「県議会のしおり」を配布した。

また、平成29年2月定例会で議員発議により制定した「山形県手話言語条例」を普及啓発するため、パンフレットを作成し、関係機関等に配布した。

⑨ 「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」の開催について

平成27年度の試行を踏まえ、28年度から本格実施している「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」については、若者が県議会を身近に感じ、主権者としての政治参加意識の醸成が図られることを念頭に、12校の高等学校・大学等で開催した。

なお、出席した議員数は延べ59人、参加した生徒・学生数は168人であった。意見交換会では、県に対する要望も出され、その後、常任委員会において執行部の取組みを促す質問に結びついたものもある。

以上、多岐にわたり県議会の活動に関する広報及び広聴の充実に努め、特に、公職選挙法の改正による選挙権年齢の引下げを踏まえ、高校生等の若者に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るための取組みを展開してきたところである。

先の衆議院議員選挙では、本県の10代の投票率が全国一位となったところであり、本県議会のこれまでの取組みがその一助となったものと確信するところである。

今後とも、「身近な県議会」を目指し、県民に対して積極的に議会活動に関する情報を提供していくとともに、県民の意思を把握していくため、広い角度からさらに調査・検討を深めていくことを希望するものである。

2 平成 29 年度議会広報・広聴事業実績

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行

県民に議会活動の概要を伝えるため、年 6 回発行し、県広報誌「県民のあゆみ」に合冊して全戸配布（約40万部）した。

号	発行日	主な掲載内容
第60号	平成29年 5 月 1 日	平成29年 2 月定例会の概要
第61号	平成29年 7 月 1 日	常任委員会の活動状況
第62号	平成29年 9 月 1 日	平成29年 6 月定例会の概要
第63号	平成29年11月 1 日	平成29年 9 月定例会の概要
第64号	平成30年 1 月 1 日	決算特別委員会及び地域議員協議会の概要
第65号	平成30年 3 月 1 日	平成29年12月定例会の概要

(2) 「県議会やまがた」の発行

県民に議会活動を詳細に伝えるため、定例会ごとに年 4 回・各3,500部発行し、市町村、県内主要団体、NPO法人、大学・短大等へ配布した。

号	発行月	主な掲載内容
第17号	平成29年 5 月	平成29年 2 月定例会の概要
第18号	平成29年 8 月	平成29年 6 月定例会の概要
第19号	平成29年11月	平成29年 9 月定例会の概要
第20号	平成30年 2 月	平成29年12月定例会の概要

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえ、有権者となり得る高校生を中心とした若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する興味を持ってもらうことを目的として、若者向け広報紙「県議会ナビ」を40,000部発行し、県内の高等学校及び特別支援学校高等部の全生徒・教員に配布したほか、大学・短大等へ配布した。

発行月	主な掲載内容
平成29年10月	県議会の概要、議長インタビュー、県議会活動のトピック、選挙啓発出前講座、生徒・学生との意見交換会の概要

(4) パンフレットの作成・配布

①「県議会のしおり」の配布

議会の役割、活動内容の周知を図るため、「県議会のしおり」を議事堂見学者等に配布した。

また、昨年度、視覚障がいのある方向けに作成した点字版「県議会のしおり」についても、議事堂見学者への配布や県議会ギャラリーに備え付けるなどして活用した。

② 政策条例のパンフレットの作成・配布

平成29年2月定例会で可決し、平成29年3月21日に施行された「山形県手話言語条例」を普及啓発するため、パンフレットを作成し、関係機関等に配布した。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催した。

参加者アンケートの結果によると、満足度が高く、8割の方が再度の参加を希望している状況であった。

(開催概要)

- ・開催日 平成29年10月3日
- ・参加人数 104人
- ・実施内容 議場見学、予算特別委員会の傍聴、県議会の概要説明、議場における山形交響楽団による弦楽合奏の鑑賞

3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供した。

展示期間	展示校等
平成29年9月26日 ～10月11日	山形盲学校、山形養護学校、ゆきわり養護学校
平成29年11月6日 ～11月30日	夏の省エネ川柳・標語・ポスターコンテスト ～やまがたエコスマイルコンテスト～
平成29年12月1日 ～12月22日	平成29年度土砂災害防止に関する絵画・作文 平成29年度河川等安全利用に関する絵画 入賞作品
平成30年1月25日 ～2月28日	山形聾学校、村山特別支援学校（本校、山形校、天童校）、上山高等養護学校
平成30年3月5日 ～4月5日	白鷹高等専修学校

4 インターネット

(1) 県議会ホームページの運営

定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容など、議会の動きをわかりやすい内容でタイムリーに掲載した。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信した。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供

会議録検索システムに「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録を登録し、県議会ホームページ上で、会議録の検索、閲覧、印刷、ダウンロードをできるようにした。

(4) ツイッター、フェイスブックの活用

山形県公式ツイッター、フェイスブックを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内、「議場演奏会と議会見学会」の開催案内等の情報を提供した。

5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

(1) YBC「やまがたサンデー5」 15分番組×2回

第1回	県議会に若者のアイデアを！	平成29年9月3日（日） 17:15～17:30 放映
第2回	もっと、もっと身近な県議会！	平成30年2月10日（土） 16:45～17:00 放映

(2) 県政広報番組を活用した定例会の告知

県政広報番組の告知枠を利用し、各定例会の日程と傍聴案内を行った。

6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の中継を実施した。

7 報道機関（パブリシティ）の活用

生徒・学生との意見交換会、議場演奏会と議会見学会、地域議員協議会の実施等について、県庁記者クラブへ情報を提供した。

8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図ることを目的として、「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を12回開催した。出席した議員は、正副議長、広報・広聴委員を中心に1校につき5人程度で延べ59人であり、参加した生徒・学生は168人であった。

意見交換会では、若者の政治参加だけでなく、議会・議員や県の施策に関することについても意見が交わされたほか、部活動での研究内容のプレゼンテーション等も行われた。また、特別支援学校との意見交換会において、冷暖房の運用に関する要望が出され、関係する常任委員会において執行部の取組みを促す質問に結び付いた事例があった。

(開催概要)

開催日	学校名（所在地）	出席 議員数	参加 者数
平成29年5月11日	山形電波工業高等学校（天童市）※	5人	11人
平成29年6月8日	山形市立商業高等学校（山形市）※	5人	20人
平成29年7月12日	羽黒高等学校（鶴岡市）	5人	10人
平成29年7月18日	白鷹高等専修学校（白鷹町）	5人	9人
平成29年10月30日	左沢高等学校（大江町）	5人	8人
平成29年11月6日	東北公益文科大学（酒田市）	5人	14人
平成29年11月21日	山形養護学校（山形市）	5人	9人
平成29年11月21日	山形大学（山形市）	5人	14人
平成29年11月30日	鶴岡工業高等専門学校（鶴岡市）	5人	14人
平成29年12月1日	東北文教大学（山形市）	4人	15人
平成29年12月14日	山形城北高等学校（山形市）※	5人	19人
平成29年12月25日	山形工業高等学校（山形市）	5人	25人

※印の学校は意見交換会を議会棟で開催し、それ以外は各学校で開催した。

(参考) 常任委員会等における関係団体との意見交換会等の状況

常任委員会の県内現地調査等において関係団体との意見交換等を実施した。

常任・特別委員会名	意見交換等の相手方	開催日
総務	地域おこし協力隊	5月30日
文教公安	交通ボランティア	5月26日
厚生環境	アクセルリンク米沢（学生サークル）	5月23日
	各県立病院長	10月25日
	一般社団法人山形県浄化槽工業協会	12月19日
	山形県小規模授産施設・共同作業所連絡協議会	1月25日
	一般社団法人山形県老人クラブ連合会	2月26日
農林水産	山形県漁業協同組合	11月1日
商工労働観光	黒川能上座・下座	11月21日
建設	一般社団法人西村山建設業協会	6月5日
子ども・若者支援策	山形大学学術研究院学士課程基盤教育機構 准教授 加納 寛子 氏	9月29日
県土強靱化・危機管理策	宮城県総務部危機対策課 危機対策企画専門監 松平 幸雄 氏	10月10日
産業振興・雇用策	山形大学人文社会科学部 准教授 坂本 直樹 氏	9月27日

3 平成 30 年度議会広報・広聴事業計画

1 広報誌等

(1) 「県議会だより」の発行（県広報誌「県民のあゆみ」との合冊）

項目	「県議会だより」	「県民のあゆみ」
発行回数	年 6 回掲載 5 月号〔2 月定例会分〕 7 月号〔企画記事〕 9 月号〔6 月定例会分〕 11 月号〔9 月定例会分〕 1 月号〔企画記事〕 3 月号〔12 月定例会分〕	年 6 回 隔月奇数月
ページ数	各号見開き 2 ページ（1 月号は 1 ページ）	各号 16 ページ
発行部数	約 40 万部（全戸配布）	同左

(2) 「県議会やまがた」の発行

項目	「県議会やまがた」
発行回数	年 4 回（4 定例会毎）
ページ数	各号タブロイド版 4 ページ
発行部数	3,500 部（県内市町村、主要団体等へ配布）

(3) 若者向け広報紙「県議会ナビ」の発行

項目	若者向け広報紙「県議会ナビ」
発行回数	年 1 回
ページ数	A 4 版見開き 4 ページ
発行部数	4 万部（県内高等学校、特別支援学校高等部（全生徒、教員）、大学・短大等へ配布）

(4) パンフレットの配布

議会についての理解や関心を高めるため、「県議会のしおり」等を議事堂見学者等に配布する。

2 議場演奏会と議会見学会

県民に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、「議場演奏会と議会見学会」を開催する。

3 県議会ギャラリー

より多くの県民から県議会へ足を運んでもらう機会を設けるとともに、県民、特に若者に県議会を身近に感じてもらい、県議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目的として、県内の児童・生徒・学生の文化活動の展示スペース「県議会ギャラリー」を提供する。

4 インターネット

(1) 山形県議会ホームページの運営

日々の議会情報の発信

議員の紹介、定例会・各常任委員会・3特別委員会・議会運営委員会の概要、地域議員協議会の内容、議会トピックスなど、詳細な議会情報を広く県民に発信する。

(2) 議会インターネット中継の配信

県議会のホームページ上で、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の生中継及び録画中継を配信する。

(3) 会議録検索システムによる会議情報の提供 【平成4年分から】

「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の会議録全文については、検索システムにデータを格納し、ホームページから閲覧できるようにする。

(4) フェイスブック、ツイッターの活用

山形県公式フェイスブック、ツイッターを活用し、定例会の日程告知、傍聴案内を行うほか、県議会ホームページの「トピックス」のコーナーの情報等をフェイスブック、ツイッターからも発信する。

5 県議会テレビ広報番組（県政広報番組枠の活用）

県政広報番組枠を活用し、議会広報番組の放映を実施する。

(1) テレビ 県政広報テレビ15分番組による議会活動の紹介

同番組内での各定例会の会期告知等

(2) ラジオ 「地域議員協議会」開催の告知等

6 総合支庁における議会中継

各総合支庁・地域振興局ロビーにおいて、「本会議」、「予算特別委員会」、「決算特別委員会」の実況中継を実施する。

7 報道機関（パブリシティ）、各種広報媒体の活用

報道各社に対し、議会活動の積極的な情報提供を行うほか、県広報推進課所管の広報媒体の活用や市町村等の広報媒体を活用した広報に努める。

8 広聴事業（生徒・学生と県議会議員との意見交換会）

生徒・学生に県議会を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、引き続き「生徒・学生と県議会議員との意見交換会」を開催する。

山形県議会広報・広聴委員会委員名簿

委員長	島津良平
副委員長	青木彰榮
委員	松田敏男
委員	柴田正人
委員	渋間佳寿美
委員	佐藤 聡
委員	能登淳一
委員	矢吹栄修
委員	渡辺ゆり子
委員	小松伸也